

海外短信



～ 中国 ～

猛烈に発展した中国の鉄道

～ 愛知皮革工業(株) ～

去る 7 月 23 日の浙江省温州の高速鉄道事故、9 月 27 日の上海市内の地下鉄事故、両事故ともはからずも“追突”事故であり、日本でもかなりの関心をもって報道されたと聞いている。上海市内の地下鉄（当地では地鐵と呼ぶ）は、我々外国人にもすっかり生活の一部になっている。

一方「高速鉄道」は・・・、実は、毎朝夕に建設中の複数の高速鉄道の橋桁の下を潜る高速道路を車で通勤していた。そのわりにはそれらの開通後もなかなか利用する機会に恵まれないでいたが、ようやく去る 10 月下旬「紹興酒」や「魯迅」で有名な「紹興市」を、新規開通のこの高速鉄道で訪ねる機会に恵まれた。

上海虹橋空港に隣接された新設の巨大鉄道駅より二時間。定刻通りの発着。それにしても便利になったものである。快適な交通機関のおかげで、「紹興観光」も楽しめ、そのうえ「20 年ものの紹興酒」まで購入できた次第。

と、此処までは単純に中国の誇る最新式高速鉄道礼賛だが、チョッと待てよ。何故かヤケに違和感なく快適なのである。そうか、東海道新幹線と全く同じ外観、内装なのである。トイレの位置・場所も寸分違わず。よって車内の”かなりの喧騒”と”少々の汚れ”さえ気にせねば違和感なく、そして快適であったのもムベなるかな。

個人的経験はこの位にして「鉄道マニア」的な知識を以下少々。中国では昨今の凄まじいばかりに急発展した「鉄道」は、列車のタイプ・運行も多くなりすぎたがために、アルファベットの頭文字で区別せねばならぬ程である。

“K”は従来からの通常の濃緑色車両の「普通列車」。

“D”は先日紹興往復で利用した「動車」で、時速 200km 以上の白色カラー車両。

“G”は 2008 年上海万博にあわせて開通の「高鉄」で、時速 300km 以上の白色カラー。ちなみに軌道幅は三者とも同じ国際基準の 1,453mm 幅である。

愛知皮革（上海）有限公司
永田明司

<有名なカンテイ酒店>



ここは魯迅の「孔乙己（コンイーチー）」に出てくる当時の紹興を舞台にした居酒屋。

<紹興市内の昔のたたずまいを残した風景>



<中国高速铁路>



